

編集後記

『大衆文化』第5号は、校正時期が春休みと重なったために出張期間とぶつかった執筆者も多く、やや遅めの完成となった。その間には、あの東日本大震災もあった。原稿自体はどれもそれ以前の執筆なのでまだその影響は見られないが、やがて、この『大衆文化』に限らず、われわれが書くものにこの未曾有の大震災はさまざまなかたちで影を落とすことになるだろう。別の言い方をすれば、何らかの変化の見られない作物(文章)などは信用できないということでもある。それほど、今度の大震災はわれわれ一人一人にそれぞれの過去・現在・未来と真摯に向き合うことを強いてきているのだ。関東大震災後には大衆文化が台頭し、それと深い関わりをもったのが乱歩だったわけだが、ではわれわれはどのようなかたちで(復興)と関わりうるのか、そのことがいま問われようとしているのだと思う。

(藤井)

大衆文化 第五号

発行日 二〇一一年(平成二十三年)四月二十五日

発行者 藤井淑禎

発行所 立教大学江戸川乱歩記念
大衆文化研究センター

印刷所 城島印刷株式会社

福岡市中央区白金二丁目九一六
電話 〇九二(五三)七二〇二